

期待される次世代県有種雄牛（「桜萬福」・「桜花久」）の紹介

【研究のポイント】

畜産研究部では肉質等の遺伝情報や体型等を総合的に評価し、高能力牛の選抜を行っています。この度、当部が飼養する高能力供卵牛「さくら」の受精卵から生まれ種雄牛として造成している3頭のうち「桜萬福」、「桜花久」の現場後代検定が終了したので、その肥育成績についてお知らせします。「桜萬福」は、全国でも稀少な血統の紋次郎直系の「萬福8」で造成され、「桜花久」は、青森県のスーパー種雄牛「第1花園」から造成した種雄牛で、大分県の次世代を担う種雄牛として期待されています。

桜
萬
福



血統：萬福8-安福久-平茂勝

生年月日 : H28.5.30
登録番号 : 黒原6177(登録点数86.6)
個体識別番号: 14061-9859-9
直接検定成績 : 1日当たり平均増体量 1.23kg

全きょうだいの肥育成績がA5-11、枝肉重量504kg、ロース芯88cm²と良好！！体上線の強さや資質、骨味などに優れ種牛性の改善効果も大 但馬系の遺伝的寄与率が高く、大型の気高・藤良系との交配を推奨

桜
花
久



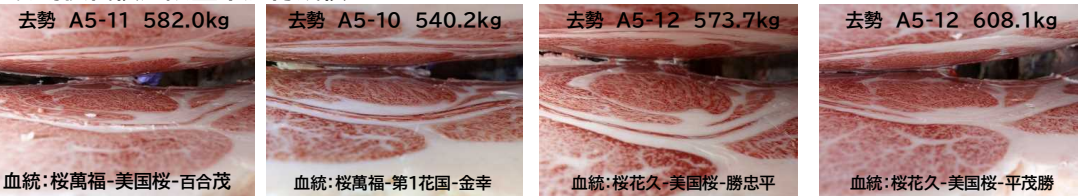
血統：第1花園-安福久-平茂勝

生年月日 : H28.12.13
登録番号 : 黒原6219(登録点数86.0)
個体識別番号: 15376-3888-9
直接検定成績 : 1日当たり平均増体量 1.19kg

全きょうだいの肥育成績がA5-12、枝肉重量524kg、ロース芯106cm²と良好！！特に枝肉重量、ロース芯面積の成績に期待でき、増体・枝振りの面での改良効果が期待大 糸桜を持たない気高・但馬系との交配を推奨

【研究の成果】

現場後代検定調査牛肥育成績



「桜萬福」、「桜花久」の産子を用いた後代検定での肥育成績はいずれも安定して良好で、特に「桜花久」では去勢平均でBMSNo.、ロース芯面積、歩留基準値の3項目において過去最高の成績であり、モモ抜けも良好なものが多く、歩留ではA率100%、肉質では上物率100%と非常に安定した成績が出ています。

種雄牛名	産子性別	調査頭数	枝肉成績 (平均)							格付		
			平均月齢	BMS No.	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値	4等級 (頭)	5等級 (頭)	4等級以上率 (%)
桜萬福	去勢	9	28.3	8.6	523.7	69.4	8.5	2.6	75.2	3	6	100.0%
	雌	7	29.6	6.3	430.6	56.6	7.2	3.3	73.3	6	0	85.7%
桜花久	去勢	10	28.9	9.3	539.8	77.1	8.3	2.4	76.1	4	6	100.0%
	雌	6	29.4	7.3	440.9	64.5	8.0	2.8	75.1	4	2	100.0%
R2年度全国平均去勢 (日格協調べ)			-	7.9	512.5	66.0	8.2	2.5	74.9	-	-	88.2%

【生産者の声】

弊社の預託牧場でも両種雄牛産子の現場後代検定や子牛市場購入牛の肥育を行いました。いずれの種雄牛も良好な成績であり、特に歩留の改善が大きく、購買者に求められる枝肉づくりが可能であると思います。特に、「桜花久」では、大分県畜産共進会や九州管内系統和牛枝肉共励会などの各枝肉共励会でも上位の成績が狙える肥育牛の生産が期待できる種雄牛であると思います。これから、県内の繁殖農家の皆様が両種雄牛を多く活用し、県内子牛市場へ多数出荷していただくことを願います。
株式会社 大分県畜産公社代表取締役専務 近藤信彦

【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター畜産研究部 肉用牛改良・肥育チーム
TEL：0974-76-1214(問い合わせは企画指導担当へ)
住所：竹田市久住町大字久住3989-1